

神樹の会会報

No. 47

平成 11 年 6 月 2 日

発行所：神樹の会

発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイスサービス ☎735-8835
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

たおじ作業所 ☎987-2532
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

ゆめの作業所 ☎578-3539
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

福祉の店「いたやど」 ☎733-2477
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

六甲作業支援センター ☎821-1533
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

垂水作業支援センター ☎782-9675
〒655-0006 神戸市垂水区本多間7-2-3

夢にむかってGo!

今春平成10年度友生・垂水両養護学校の卒業生19名は元気にそれぞれの道へ歩みだしました。また両校で計43名の教職員の方々が退職・転任されました。

♡愛と希望と
勇気をもって♡

神樹の会会長 宮脇テル子

学校生活を終えそれぞれの道へ歩みだしている卒業生の皆様に神樹の会会歌の中にある次の三つの言葉を贈りしたいと思います。
それは「愛」「希望」「勇気」です。
愛をいっぱい受けて、希望に胸おどらせ、勇気をもって生き抜いていきましょう。お世話になりました先生方にも卒業生たちが一生懸命に明るく生活していることを、時々思い出していただきますようお願いいたします。



▲友生養護学校高等部卒業生のみなさん
楽しかったね、修学旅行は

お世話になります
神戸市保健福祉局障害相談課長が正垣純三様から道盛貴夫様へ異動がありました。正垣様ご指導ありがとうございました。

垂水養護学校

《転出》

- 川中 知紗 青陽西養護学校
- 溝上 正章 青陽西養護学校
- 藤林 真理子 青陽東養護学校
- 野橋 忠実 舞子小学校
- 森岡 千代 丸山中学校
- 井上 豊 青陽高等養護学校
- 山口 敏行 青陽高等養護学校
- 喜多 恵介 西代中学校
- 大前 洋介 友生養護学校
- 熱田 大輔 狩場台小学校

- 《退職》
- 岡崎 郁美 神港高等学校
 - 佐野 唯夫 丸山中学校
 - 田淵 哲史 垂水東中学校
 - 飯田 育男 神戸生田中学校
 - 浜中 清 垂水小学校
 - 友田 延代 高丸小学校



▲垂水養護学校卒業式。ちょっと緊張してポーズ!!

感謝

平成十年十二月から平成十一年四月までに次の方々より尊いご寄付をいただきました。

- 新宮 文男様
- 東郷 賢治様
- 竹田 美代子様
- 黒田 登喜枝様
- 相田様
- 丹羽様
- 田中 等様
- 下田 洋子様

友生養護学校

- 《転出》
- 今関 和夫 市立盲学校
 - 末岡 悦子 浜山小学校
 - 中尾 繁樹 市教委指導第2課
 - 鎌谷 貴之 湊川多聞小学校
 - 胡谷 総一郎 八多中学校
 - 地下 賢治 六甲アイランド高校
 - 石本 光子 太田中学校
 - 小黒 直明 垂水養護学校
 - 岡本 宏美 御影小学校
 - 伊藤 万里子 谷上小学校
 - 小川 政秀 唐櫃小学校
 - 寿 茂一 北調理場
 - 土井 崇世 垂水養護学校
 - 阿部 一彦 玉津南公民館
- 《退職》
- 北上 幸子
 - 薮本 恵子
 - 岩田 恭子
 - 山崎 清
 - 福尾 五由利
 - 黒田 徳子
 - 岡本 夏子
 - 生田 恭子

(敬称略)

これからをあなたとつくる



神樹の会は卒業後の進路確保を主として活動してきています。近年は本会以外の通所施設も増えていますが、毎年の卒業生を迎えるには新しい所が次々に必要となります。入所施設建設や高齢になり体力の衰えていく親のサポートのためにも...。そんな私たちの願い実現にむけて日々活動しています。色々な方の声を聞いてみました。

- H 福祉の施策が変わると聞きましたがどういう事でしょうか。
- O 社会福祉基礎構造改革で今までの社会福祉のあり方が見直されます。特徴としては措置制度から事業者との契約システムになる事と、利用者の権利擁護等があげられます。
- I 個人が選べる利用制度に
- M それは利用者がサービスを選べるという事なのですね。
- H 地域福祉の充実もいわれていますし、未来がとて明るくなる気がしますね。
- I でも現状ではサービスを選べるだけの施設等の絶対数が足りないですよ。
- O ほんとに毎年の卒業生の進路に対応していくのは大変です。
- H 先日アンケートをとりましたが結果はどうなのでしょう。
- K それで今後の方向が決まっていますから具体的に動いていくって期待したいですね。

デイサービスの活動に参加して思うこと

吉田昌則

僕は日頃、病院でお年寄りの方のお世話をさせてもらっています。職場で身に付けた技術や経験を施設以外で役に立っていないかと思っていたところ、デイサービスからお誘いがあり参加させていただきました。慣れない事なので不安はありましたが、お母さん方、先生方子供たちにとても明るく親密な雰囲気が僕にはとても新鮮で僕自身も楽しめました。まだまだ未熟なところがありますが、機会があればまたよろしくお願ひします。

- N 私は今まで子どものためと夢中でやってきましたけれど、最近あちこちと痛くなったり、疲れもとれにくくなっています。
- K そうですよ。ふと気がつく子どもも成長につれて私が年をとっていているんですよ。それに何かと助けてくれていた私の親にも介護が必要となってきているんです。
- I 子どものことと同時に自分の将来も考えていかないとダメですね。
- H ショートステイや昼間一時保護などを上手に利用できればいいのですが。
- M いろいろな情報をつまみキャッチして積極的に利用したいですね。
- N 時代の移り変わりと共に神樹の会への希望は、今は違ってきています。
- O そうですね。これからもその時にあつようみんな考えて、力を出しあって基盤を作っていくかなければいけませんね。

何もしなければ何も生まれない

早いもので、星陵園がラポーターたるみの通園事業となり九月月たちました。利用者さん達も、星陵園時代と違い毎日参加できる様になり、生活のリズムがよくなりました。正しくなってきたのではないうか。またプログラム面においても、個々のケースに対応した処遇が行える様になりました。

通園事業となつて

白坂 利昭 利用者の方々が、楽しみながら充実した生活ができる場所になる様に、今以上に頑張つてゆきたいと思つております。(ラポーターたるみ指導員)

「私と地震」

豚座 こずえ

阪神淡路大震災がおきてから四年がすぎました。この四年余り私にとって色々なことがありました。地震にあつて家が全壊し、避難所体育館で三ヶ月すごしました。その間体調が悪くなり一ヶ月近く入院しました。

こんなサービスがほしい

西村 美絵子

息子は重度授産施設に通所で在籍中、親もまだ若いつもりだし、兄弟との関わりも大切にしたいから入所の形をとらず朝夕往復一時間の送迎をする毎日です。

家ではトイレ・風呂等全面的に介助しかなりの体力がいり、疲れた日など介助の手がつかない状態になる。(息子よこめん) いずれ親が世話しきれなくなったら医療付き療養施設へと考えているが、それまでは家族と共に過ごしたい。

そこで家族が介護疲れで倒れないためにレスパイトサービスがあればと思う。本人の詳しい情報を持った日頃から顔なじみの援助者がいつでも家に来てくれたら、普段の生活を安心して継続できる。難しいかも知れないけれど、こんなサービスがあればと思う。(平成六年度友生養護学校卒) カトリア園在籍 母親

レスパイトケア 介護者の休養のため、リフレッシュするため家族に代わつてケアを提供すること。家族に一時的な休息を提供するサービス。



◆総会のご案内 平成十一年六月六日 (日) 午後一時三十分より、神戸市勤労会館で第二十八回神樹の会総会が開催されます。

◆アンケートご協力に感謝!! 会員の皆さまにご協力いただきました。結果により今後の会の方針を決めていく予定です。

◆神樹の会の会員名簿 新しく会員名簿を作成しています。住所等に変更のある方は、事務局までご連絡下さい。



みなで踊ろうよ 木々の緑や花々の優しさに心もはずむ季節となりました。皆さまお元気でいらつしやいますでしょうか。会報四十七号をお届けいたします。ご執筆下さった方々に心よりお礼申し上げます。いつも子供と共にありたいと思ひながらも年を経る度に体力の衰えを確実を感じる私達。お互い心を一つに、思いあえる仲間のいるこの会を軸に、天使の様な子供たちの明るい未来を祈りつづいて。 (阡陌 松本 石倉 渡部 日高 西村 松岡 黒田 小野 宮脇)

報告

*「いたやど」が開店二十周年に 地域に根つき愛されている福祉ショップ「いたやど」の二十周年を記念して関係者でお祝いをしました。これも多くの方々に支えられてきたおかげと心よりお礼申し上げます。 *ヤング フェスティバル 第二回ヤングフェスティバルが二月二十八日あわせの村研修館で開催されました。軽妙なリズムに思わず体が動く楽しいフェスティバルでした。

長年住み慣れた家を解体する時には母と一緒に見に行き、つぶされる時の瞬間胸がジーンとなりさびしい気持ちになりました。(今はすっかりあの辺りも変わってしまいました。)

仮設には一年八ヶ月いました。今は市住に住んでいます。ここに来た頃、鉄筋住宅は初めてなので一年半程なかなか慣れなくて困りました。今はすっかり慣れました。私は現在魚崎デイサービスと六甲支援センターのデイサービスに行っています。どちらも楽しく過ごさせてもらっています。みんなも色々あったと思うけど、これからは一緒に頑張ろうね。(昭和五十九年度友生養護学校卒) 魚崎デイサービス在籍